

カリキュラムポリシー
教育課程の編成・実施の方針

1. 地域生活の実相と課題に対する認識を深めるために、統計処理やフィールドワークなどを組み込んだカリキュラムを構成する。
2. 国際化という時代の要請に応えるために、外国語の実践的な言語運用能力の習得を目指したカリキュラムを構成する。
3. 講義、演習、実習・実験科目をバランスよく配して、実社会を見据えながら理論や知識の習得、スキルの獲得が行えるようにカリキュラムを構成する。
4. コアカリキュラム等、学生参加型・地域連携型の授業を推進し、問題解決力や社会的実践力の育成に資するカリキュラムを構成する。
5. 基幹・発展科目を設定し、専門的知見に基づく諸事象への洞察力を養うカリキュラムを構成する。



ディプロマポリシー
卒業認定・学位授与の方針

1. 地域社会の風土・文化に対する確かな見識と社会的課題を解決するために必要な幅広い教養
2. 社会のニーズを理解し、ローカルとグローバルの双方向的な視点から問題解決を図ることができる能力
3. 日本と世界の多様な文化を理解し、人間社会のあり方を深く考察することができる能力
4. 一定水準の外国語運用能力を有し、文化的背景を踏まえて、異なる文化圏に属する人々とコミュニケーションが図れる能力
5. 生活の質的向上や、地域における文化等の活性化および新たな生活文化の創造を主体的に担おうとする態度
6. ディベートやプレゼンテーションを通して、自らの考えを明確に説明できる能力
7. 高いコミュニケーション能力と協調性をもって、協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる能力

※クォーター制の科目の名称の数字(1,2など)は省略しています。